



「ワクチン」による予防について

質問です。

世界の1歳児の中で、なんらかの予防接種を受けている子供はどのくらいいるでしょう？

A 20% B 50% C 80%

これは、ベストセラーとなっている書籍「ファクトフルネス」(ハンス・ロスリングほか、日経BP社、2019)で紹介されているクイズの中の1問で、ご存知の方も多いかもしれません。正解はCの80%です。世界中で本当に多くの子供たちが予防接種を受けていることがわかります。

新型コロナウイルス感染症により、人類の歴史が感染症との戦いの歴史であったことを改めて振り返ることになりました。感染症の大きな流行や被害がなくなると、それが予防接種の恩恵であることを忘れてしまいがちです。しかし、多くの人が亡くなり予防の手立てがなかった感染症に対して、それぞれに切望されて開発されたものが「ワクチン」で、社会全体で一定の接種率を保つことで、その恩恵が継続されているのが現在の社会なのです。

新型コロナウイルス感染症に対するワクチンが、もしも接種可能となったなら…。

「もちろん接種したい」というあなた！

毎年のインフルエンザワクチンはどうされていますか？

その他の予防接種はすべて済んでいるのでしょうか？

これを機に、一度見直してみませんか？

日本は長らく「ワクチン後進国」と呼ばれてきました。中でも、男性への風しんワクチン接種が遅れたため定期的な流行の原因となり、妊婦さんへ感染させることによる赤ちゃんの先天性風疹症候群が大きな問題となっていました。現在、行政によるキャッチアップ事業が行われています。昭和37年4月2日〜昭和54年4月1日生まれの男性の皆さま、市町村からの案内(クーポン)が届いたら確認の上、抗体検査を受けてください。クーポンがあれば、会社の健康診断での血液検査と同時に実施することも可能です。そして抗体がなければ、ワクチンを接種してください。

大人になってからの予防接種や抗体検査の

■ 予防接種に関する情報は

「こどもとおとなのワクチンサイト」
一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
<https://www.vaccine4all.jp>



「京都府予防接種相談センター」
一般財団法人京都予防医学センター内
<https://www.kyotoyobouigaku.or.jp/support/vaccination/>



結果は、必ず忘れます。健診結果と共に記録を残すなど工夫しておきましょう。ワクチン接種について相談できる主治医がいるとベストです。

一般財団法人京都予防医学センター
健康づくりセンター健康推進係

阿部 圭子

